

協定校での短期研修プログラム 2014

参加者アンケート

名古屋大学国際教育交流センター
海外留学部門

目 次

ガジヤマダ大学（インドネシア）	……	1
国立中正大学（台湾）	……	11
香港中文大学（中国）	……	19
梨花女子大学（韓国）	……	25
モナシュ大学（オーストラリア）	……	29

ガジヤマダ大学

短期研修についてのアンケート

記入 | 2014年 9月

所属 & 学年 | 情報文化学部 4年生

留学先大学 (国名)	ガジャマダ大学 (インドネシア)
短期研修のプログラム名	DREaM 2014
留学した期間	2014年 8月 9日 ~ 2014年 8月 23日

1. 留学前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

応募のきっかけ: 英語能力向上、インドネシアに行ってみたかったから

手続き: オンライン申し込み、エッセイ作成、料金振り込み

語学対策: 特になし

2. 研修内容や学校 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

内容: テーマ"eco-preneurship"に関する講義受講、ワークショップ、インターンシップ、農村滞在。滞在中のエッセイ課題、プレゼン準備あり。スケジュールはほぼ全日決まっている。

感想: スケジュールがきつく、課題提出のめ切りが短く設定してあったので夜遅くまで作業していた。毎日へとへとだったが、農村でのホームステイや日本人グループが集まっての出し物の練習はとても面白かったし、参加者たちの成長につながったと思う。

学生同士の交流: 参加者はほとんど日本人だったが、マレーシア・ブルネイ・オーストラリア・インド・インドネシア・オーストラリア人と交流できた (私のルームメイトはマレーシア人だった)。会話は基本的に英語で、皆流暢に話すことが出来る。また、他大学の日本人とも仲良くなり共に観光に行ったりショッピングに行ったりした。

3. 生活 (住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど)

現地の食べ物にあたる日本人が続出。良く効く胃腸薬 (正露丸など) は必須である。

またトイレは伝統的なスタイル (和式に近い) ため、慣れが必要。特に農村のトイレはすごい (ドアなしペーパーなし)。洗濯はホテルの洗濯サービスがあったが、少々高額だったため下着等は手洗いして部屋に干していた。

クレジットカードを使う場面は限られるので、お金は現地通貨のみ持ち歩くとよい。

常に気温が高いので、日焼け止め、帽子、サンダルが活躍した。

4. 危機管理 (身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど)

オートバイや車の交通量が非常に多いので道路を渡る際はよく見る。また、貴重品はホテルに預けるなど最低限の注意はすべき。時々現れる物乞いにはお金を渡さないこと。滞在中、特に危険を感じたことはなかった。

5. 留学を終えて感じる事 & 留学を考えている学生へのメッセージ

留学を終えて感じる事: 様々なことを経験し、また一步成長したと思う。コーディネーターたちはとても親切だったし、違う国籍の友人もできたし、私的には大満足。とても濃い二週間だった。来年以降もこのプログラムをオススメしたい。

メッセージ: とにかく行ってみよう。短期留学なら「英語話せない・聞けない」の初心者でも簡単に申し込めるし長期休暇を利用できるため大学の授業に支障はない。現地でトラブルはたくさんあるだろうが、サポートしてくれる人は必ずいる。興味だけで終わらず思い切って申し込んでみるといい。

6. 研修費用（さしつかえなければおおよその金額を教えてください）

内訳	おおよその額	備考
航空運賃&ビザ申請料	150,000 円	
海外旅行保険	0 円	
授業料（教材費含）	69,093 円	
滞在費（寮費など）	授業料に含まれる	
食費	3,000 円	ほとんど授業料に含まれる
交通費	1,000 円	タクシー代
その他（小遣い、通信費など）	15,000 円	おみやげ代、観光費
計	238.093 円	

自由記述欄 * 現地のおすすめ情報や留学エピソードなどご自由にご利用ください。写真添付なども歓迎します。

↓↓↓



今回の DREaM は、農村で三泊四日滞在するプログラムがありました。

右は農村での社会奉仕作業の様子。暑い中歩き回ってゴミ拾いをしました。探り探りの現地の村人との交流は思い出深いです。

大学のあるジョグジャカルタ市は世界遺産で有名。滞在中、プランバナン寺院やボロブドゥールに観光に行けます。その他マリオボロ通りやビーチなどにも散策に出かけました。



短期研修についてのアンケート

記入 | 2014年 10月
所属 & 学年 | 医学部 4年生

留学先大学 (国名)	ガジャマダ大学 (インドネシア)
短期研修のプログラム名	DREaM 2014
留学した期間	2014年 8月 9日 ~ 2014年 8月 23日

1. 留学前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

留学の動機は大きく分けて3点あります。初めに、インドネシアという東南アジアでの地に行ってみたいという思いがありました。このプログラムでは、インドネシアで学問を学べるだけでなく、現地でのインターンシップや農村でのコミュニティーサービスを体験できることが非常に魅力的だと感じたためです。現地の人々の生活に触れ、彼らと同じ視点に立つことで、東南アジアでの生活の現状を肌で感じたいと思いました。次に、自分の英語力を強化する機会として利用したいと考えました。医学科では6年次に3か月間、臨床留学に行くことができるプログラムがあり、その応募 (TOEFL) の準備として夏休みには英語を学ぶための短期留学をして、英語力を強化したいと以前から考えていたためです。最後に、世界各国の方々との交流を行いたいという思いがあったためです。私は今年の2月に日本とカナダの学術コンソーシアム (JACAC) に参加いたしました。私はこれまでに留学やホームステイの経験がなかったため、JACAC が初めて数日間にわたって海外の方と触れた体験でした。そこで得たものは、考え方の違いや、大学入学後の生活態度など、語学力の差以上に大きなもので、とても濃密で衝撃的な日々でした。そして長い夏休みにも、再びこのような素晴らしい経験ができればいいなと思い、応募させていただきました。

申し込みの手続きは、まず5月中旬までに海外留学室に渡航届けを出し、その後 DREaM のホームページから参加登録をすると、コミッティーメンバー (現地の学生スタッフ) から5月末までに250-500 words ほどのレポートを提出するように指示がありました。その後も彼らとは何度か手続き関連のメールのやり取りをしました。授業料の送金方法に悩みましたが、郵便局の窓口が最も安く行えました。名大では JTB の方も交えて渡航前オリエンテーションが7月頭に一度ありました。また私は航空券を5月半ばに Expedia を利用して自己手配しました。JTB は保険も含めて (高いので) 一切利用しなかったです。また外貨は、日本ではドルのみ替えて行くのがおすすめです。ビザが35ドルかかります。ルピアを日本で替えるのはレートが悪くおすすめしません。現地にてキャッシュカードで替えるのが最もお得だと思います。

インドネシア語は全く勉強せずに行きましたが、農民は英語を話せないなので、会話本を持って行けばよかったと思いました。地球の歩き方は記念に?購入して行きました。

2. 研修内容や学校 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

DREaM はガジャマダ大学の学生が完全に主体として行っている、インドネシアでの2週間の短期プログラムです。今年のテーマは Eco-preneurship だったので、それに関する大学でのレクチャー (2日間)、インターンシップ (3日間)、農村で行うプランの企画 (2日間)、農村でのコミュニティーサービス (3泊4日) という構成でした。レクチャーでは大学の先生やエコに取り組んでいる学生団体、ガルーダインドネシア航空の元キャプテンからお話を聞きました。インターンシップは事前に自分の興味があるテーマを選んでおき、それを元にグループが割り振られました。私はベンチャー企業を立ち上げた学生社長のグループで、3日間でエコ商品を実際に作ってプレゼンをするグループでした。他には海でゴミ拾いをしたり、山で植林をしたりするグループがありました。農村では6グループに分かれて、現地の企業にエコへの取り組みを提案しました。私は bamboo batik 会社のグループになり、染料

や竹くずの廃棄方法を提案したり、facebook ページを作成したりしました。農村では各家庭に 2 人ないし 4 人ずつホームステイをしました。電気は暗く、ネット環境もシャワーもないため過酷な生活でしたが、今となってはいい思い出です。また現地での課題は、レクチャー翌日までの 250-500 words ほどのレポートが 2 回、インターンシップ翌日までの 1000-1500 words のレポートが 1 回、農村でのプランの企画（プレゼン）が 1 回、農村でのコミュニティーサービス後にアンケートが 1 回ありました。農村に行くまでのレポートは皆睡眠を削って取り組んでおり、なかなかハードなものでした。

このように記すと真面目な研修旅行のように思えるかもしれませんが、実際はプログラムの半分は観光です。コミッティーメンバーが、地球の歩き方に載っているような市内の観光スポットや世界遺産の一つであるボロブドゥール寺院にも連れて行ってくれました。また free time もたびたびあるので、参加者同士でタクシーに乗って買い物に行ったり、インターンシップの引率者に車を出して遊びに連れて行ってもらったりしていました。独立記念日に行った、運動会のようなゲームも楽しかった思い出の一つです。

少し残念だったところは、2014 の参加者約 45 名のうち、31 人が日本人だったことです。残念ながら私は、ルームメイトも日本人の子でした。積極的に他の国からの参加者（ブルネイ、マレーシアなど）やコミッティーメンバーと話しに行かないと、英語を鍛えることは難しいと思います。

3. 生活（住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど）

インドネシアは 9 割がイスラム教徒の国です。接する上で注意したことは特にありませんが、毎朝礼拝のアナウンスで起こされたり、レストランに礼拝所があったりカルチャーショックは多かったです。また赤道直下の国なので日中は日差しが強いです。その分冷房がきついところも多いので、薄いカーディガンなどを持って行くといいと思います。また 4 に記したように、蚊よけ対策グッズも持参してください。私は日焼け止めクリームの上から蚊よけスプレーをしていました。農村に行くまでは大学の近くのホテルに泊まりましたが、日本と変わらない快適な生活でした。ルームメイトと 2 人 1 部屋です。農村では加えて、懐中電灯、寝袋、ティッシュ、水が欠かせませんでした。電気は家にはありますが、街灯はありません。ベッドは提供して頂いたのですが、ブランケットがなかったため寝袋で寒さを凌いでいました。農村の夜は寒いです。トイレにはレストランでも度々ティッシュがないことがあるので、多めに持って行ってください。また基本的に水洗トイレではなく、柄杓のようなもので水を汲んで流すタイプのトイレです。またシャワーはありません。トイレを流す水で体を洗うように言われたのですが、私にはできませんでした。ホースで髪の毛や手足など流せるところ流し、ウェットティッシュで体を拭いて 3 日間堪えました。水も 4 で述べた通り、自分で調達するのがよいと思います。農村にも雑貨屋さんが多くあるので、現地で買うことはできます。

食事は、ナシ・チャンプルーという、ワンプレートのものがほとんどでした。ご飯は白飯もしくはチャーハンです。肉は宗教上、鶏肉ときどき牛肉でした。朝から唐揚げやカレーの角煮のようなものが出てきて、胃に優しくないなあと思いながら食べていました。レストランではピラニアなど変わった魚を食べたりもしました。揚げ物が多かった印象があります。味付けは辛いものが多く、spicy と書かれた食べ物の辛さは尋常ではなかったです。その分飲み物やデザートは甘いものが多く、tea は基本的に暖かい紅茶に大量の砂糖が入っているものでした。食事はまずくて食べられない！ということはありませんでしたが、バリエーションが乏しいので、口休めに free time には日本人同士でピザハットに行ったりしていました。他にはフルーツが安くて美味しいので、バナナやマンゴー、ドリアンを買って、ホテルでカットしてもらってパーティーをしたりもしました。個人的には生メロンジュースが 1 杯約 100 円で美味しいので、レストランで注文するのいいと思います。

インドネシアルピアのレートは約 10000 ルピア=100 円です。どこでも物価は安いですが、マリオボー口通りが最安です。T シャツを 1 枚 12500 ルピアから買えます。スリなどの被害にあった人はいませんでした。タクシー

で乗車前に値段交渉をしたためにぼったくられたことはありました。タクシーは最低 20000 ルピアからと安いので、複数人で乗車して積極的に利用しました。

服装は、露出の多くない普段着の他にも、スーツ（フォーマルな服）、パーティードレス、伝統的な服（浴衣など）とかなりたくさん持って行くよう指示がありました。それに合わせた靴も必要だったので、スーツケースは行きで既にパンパンでした。捨てて帰る服やサンダル、スニーカーなどを持って行くといいと思います。

持って行って良かったものは、虫除け、アルコール除菌（ウェットティッシュ）、胃腸薬、下痢止め（結局は使いませんでした）、ハンガーなど洗濯用品、寝袋（Amazon で 1000 円で買いました）です。農村で体を拭くウェットティッシュは、モールにあるスーパーで調達しました。お土産には、折り紙、抹茶キットカット、ミルクキーを配り歩きました。仲の良かった子にフリクションをあげたら、インクが消えることに驚いていました。

4. 危機管理（身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど）

食あたりと感染症（デング熱）には細心の注意を払っていました。まず食べ物について。インドネシアの水は飲めないことはご存知かと思いますが、レストランで提供される氷にも気をつけてください。私は忘れない限り No Ice で注文していました。また屋台の食べ物も不衛生なので一切手を付けませんでした。水が汚いので、生もの（サラダなど）も食べませんでしたし、ホテルでは毎日ペットボトルの水が支給されるので、そのきれいな水を使って歯を磨いていました。農村では各家庭にウォーターサーバーがありますが、自分で用意した水を飲むことをおすすめします。ウォーターサーバーが汚染していたせいで、おなかを壊してしまった人がちらほらいました。

次にデング熱対策について。熱帯地域であるインドネシアには、この夏世間を賑わせたデング熱を媒介する蚊が蔓延しています。私は日本から、蚊よけスプレー（人体用と部屋用）、蚊よけリングを持参して対策したところ、結果的に 2 週間で 2 カ所しか食われませんでした。現地でより強力な蚊よけクリームを買っている人もいました。

また治安に関しては不安を感じることはありませんでしたが、リュックを前にしたり、ショルダーバッグを使用したりといった対策はしていました。バイク優先社会なので、道を横断するのは少し怖かったです。

5. 留学を終えて感じること&留学を考えている学生へのメッセージ

短い期間でしたがとても盛り沢山のプログラムで、一日一日がとても充実していました。コミティメンバーが親身になって動いてくれたので、全く不都合なく過ごすことが出来ました。イスラムという彼らの文化に触れられたこと、東南アジアの学生と友達になれたこと、そして 1 枚 1 枚写真すべてが宝物です。

6. 研修費用（さしつかえなければおおよその金額を教えてください）

内訳	おおよその額	備考
航空運賃&ビザ申請料	75000 + 3700 円	航空券は自己手配しました。ビザは\$35 でした。
海外旅行保険	0 円	クレジットカードの保険のみで行きました。
授業料（教材費含）	72000 円	プログラム参加費。\$675 + 手数料。
滞在費（寮費など）	0 円	参加費に含まれています。
食費	0 円	参加費に含まれています。
交通費	円	参加費に含まれています。
その他（小遣い、通信費など）	15000 円	150 万ルピア用意しましたが、余りました。
計		約 16 万 5 千 円

自由記述欄 * 現地のおすすめ情報や留学エピソードなど自由にご利用ください。写真添付なども歓迎します。

↓↓↓



ガジャマダ大学の前で



マリオボーロ ストリート



ステイ先の家族と



村の子供たち



ある日の昼食



世界遺産ボロブドゥール前で

国立中正大学

短期研修についてのアンケート

記入 | 2014年 9月

所属 & 学年 | 多元数理科学研究科 2年生

留学先大学 (国名)	国立中正大学 (台湾)
短期研修のプログラム名	グローバル社会と多元的文化社会
留学した期間	2014年8月1日～2014年8月26日

1. 留学前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

夏休み期間中英語を使えるプログラムに参加したいと思い、また私は中国語が話せるので台湾なら生活面で困らないと思い応募しました。値段が安かったのも理由の一つです。申込み手続は名大の留学生センターに参加の意思を伝え、その後インターネットで申し込みをしました。語学対策は特にしていません。

2. 研修内容や学校 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

午前中は講義、午後はグループワーク、週末は旅行ととても充実したプログラムでした。特にグループ内は日本人自分だけだったので、常に外国人と交流ができてとても良かったです。

3. 生活 (住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど)

学校側の都合で私は1人で住みましたが、通常は4人部屋の寮に住みます。食事は日本とよく似ているので心配ないかと思いますが、衛生的でない物はあまり口にしない方がいいと思います。日本の常備薬は持参した方がいいです。

4. 危機管理 (身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど)

特に身の危険を感じることはありませんでしたが、学校外へ出かける時は必ずパスポートを携帯していました。

5. 留学を終えて感じる事 & 留学を考えている学生へのメッセージ

この研修を通してたくさんの友達と出会えて良かったです。今でも何人かとよくチャットをします。1か月はあっという間なので、あまり悩まずにとりあえず参加してみるといいと思います。プログラム内容もとても充実しており楽しかったです。

6. 研修費用 (さしつかえなければおおよその金額を教えてください)

内訳	おおよその額	備考
航空運賃 & ビザ申請料	50000 円	ビザ不要
海外旅行保険	5000 円	
授業料 (教材費含)	5000 円	授業料は無料、申請料あり
滞在費 (寮費など)	20000 円	
食費	20000 円	
交通費	10000 円	空港—大学間の往復運賃
その他 (小遣い、通信費など)	20000 円	個人旅費
計	130000 円	

自由記述欄 * 現地のおすすめ情報や留学エピソードなどご自由にご利用ください。写真添付なども歓迎します。

↓↓↓

このプログラムの参加者の大半は中国人や台湾人で、私は中国語ができるということですぐに輪の中に溶け込みました。また台湾は景色がきれいな場所がとても多いので、週末を利用して旅行に出かけると楽しいと思います。あと台湾のアップルマンゴーとパイナップルケーキがとてもおいしかったです。

短期研修についてのアンケート

記入 | 26年9月

所属 & 学年 | 文学部2年生

留学先大学 (国名)	国立中正大学(台湾)
短期研修のプログラム名	2014 International Summer School CCU
留学した期間	26年8月1日 ~26年8月26日

1. 留学前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

交換留学の前に体験しておきたかったため応募しました。申込後、留学先大学の職員さんや learning partner とメールでコンタクトをとりました。

2. 研修内容や学校 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

8/1-13 と 8/14-26 の期間にそれぞれ1つずつ授業(英語による)を受けました。授業のほかにもグループワークの時間や旅行、スポーツの時間があり、他学生との交流の機会が多かったです。

3. 生活 (住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど)

学内の寮に住みました。4人1部屋でした。ご飯は全て外食で、学内外に安い飲食店が沢山あったので友達と食べに行きました。衛生面はそれほど気になりませんでしたが、水は買っていました。学内には飲料水サーバーもあります。蚊が多いので、虫よけスプレーや薬は必要です。日差しも強いので日焼け止め、日傘などもあったほうが良いです。

4. 危機管理 (身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど)

特に危険だと思うことはありませんでしたが、モーターバイクが多く交通マナーはあまり良くないです。

5. 留学を終えて感じる事 & 留学を考えている学生へのメッセージ

毎日いろいろな国の人と出会って仲良くなれる素敵な留学でした。日本について興味のある人が多くて、自分がまず日本のことを知って紹介したいなと思いました。台湾は日本の製品を沢山売っているので生活しやすいと思います。現地の学生のサポートも手厚く、濃く充実した毎日を送ることができました。少しでも関心があるなら気軽に行ってみることをお勧めします。想像以上の体験ができると思います。

6. 研修費用 (さしつかえなければおおよその金額を教えてください)

内訳	おおよその額	備考
航空運賃 & ビザ申請料	50000 円	
海外旅行保険	15000 円	
授業料 (教材費含)	0 円	
滞在費 (寮費など)	20000 円	
食費	15000 円	
交通費	8000 円	
その他 (小遣い、通信費など)	30000 円	旅行代含む
計	138000 円	

TRAVEL

木曜・金曜は基本的に旅行が組み込まれていました。金曜日に大学に帰るのか、旅行先に残ってそこから週末も旅行を続けるのかを自分で選ぶことができました。台湾人の友達や中国人の友達と一緒にに行けたおかげで、言葉に困ることなく台湾をまわることができました！その一部を紹介します！

墾丁☆ナイトマーケット



花蓮☆七星潭



澎湖諸島☆夕日



台中☆お茶の試飲



嘉義☆阿里山



台北☆九份



短期研修についてのアンケート

記入 | 2014年 9月

所属&学年 | 工学研究科 M2 年生

留学先大学 (国名)	国立中正大学
短期研修のプログラム名	Taiwan Society an Language
留学した期間	2014年 8月 1日 ~ 2014年 8月 27日

1. 留学前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

中国語の必要性を感じ、中国語の基盤を作ること及び学習意欲を高めるため留学を決めました。
申込みはオンラインで済ますのみであり簡単でした。

2. 研修内容や学校 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

授業形態は先生によるところが大きいと思いますが、私が受講したクラスの先生の指導はインタラクティブでとても楽しくわかりやすい授業でした。

3. 生活 (住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど)

寮が衛生的とは言い難い環境でした。物価は安く食費は抑えようと思えばかなり抑えることが可能です。

4. 危機管理 (身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど)

特になし。犬が多いので噛まれないようにした方がよいかもかもしれません。

5. 留学を終えて感じること&留学を考えている学生へのメッセージ

国立中世大学のプログラムは学生が中心となって企画している内容が多く、とても充実したプログラムになっています。学生同士の交流も多くなるようにプログラムされているので、大変有意義な時間が過ごせるかと思います。

6. 研修費用 (さしつかえなければおおよその金額を教えてください)

内訳	おおよその額	備考
航空運賃&ビザ申請料	35000 円	
海外旅行保険	5000 円	
授業料 (教材費含)	0 円	免除制度利用
滞在費 (寮費など)	30000 円	
食費	40000 円	
交通費	5000 円	
その他 (小遣い、通信費など)	50000 円	
計	165,000 円	

自由記述欄 * 現地のおすすめ情報や留学エピソードなどご自由にご利用ください。写真添付なども歓迎します。

↓↓↓

台湾の旅行は台北よりも自然を満喫しましょう。

短期研修についてのアンケート

記入 | 2014年07月

所属 & 学年 | 情報文化学部 2年生

留学先大学 (国名)	中正大学 (台湾)
短期研修のプログラム名	
留学した期間	2014年8月1日 ~2014年8月26日

1. 留学前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

留学を経験してみたかったというのと、英語と中国語の両方が学べると考えたことがきっかけ。オンライン英会話を3か月だけ行った。

2. 研修内容や学校 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

プログラムの参加者はみんなフレンドリーだった。わからないことも親切に教えてくれた。英語の授業では英語が流暢な人が多かったのでディベートのとき少し苦労した。グループワークなど交流の時間がしっかり取られているのがよかった。

3. 生活 (住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど)

衣食住ではそれほど困ることはなかった。ほとんどのものは現地調達できると思う。寮は4人一部屋だったので、寝るとき貴重品はスーツケースに鍵をかけて保管していた。それ以外のときは持ち歩いていた。

4. 危機管理 (身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど)

交通ルールがあまり守られていなかったため、車やバイクには気を付けていた。

5. 留学を終えて感じること & 留学を考えている学生へのメッセージ

行くまではいろいろ不安を感じていたが、いざ行ってみるとみんな親切でとても有意義な留学を経験できた。ぜひ勇気を出して参加してほしいと思う。

6. 研修費用 (さしつかえなければおおよその金額を教えてください)

内訳	おおよその額	備考
航空運賃 & ビザ申請料	5万円	
海外旅行保険	1.7万円	
滞在費 (寮費など)	3万円	
計	約 20万円	

自由記述欄 * 現地のおすすめ情報や留学エピソードなどご自由にご利用ください。写真添付なども歓迎します。

↓↓↓

中正大学は台湾のほぼ真ん中に位置するので、週末の観光にとっても便利でした。とくに花蓮がお勧めです。

短期研修についてのアンケート

記入 | 2014年 9月

所属 & 学年 | 法学研究科 M2年生

留学先大学 (国名)	台湾国立中正大学
短期研修のプログラム名	CCU、ISS
留学した期間	2014年 7月31日 ~ 2014年 8月 14日

1. 留学前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

事前の一年間の中国語研修。

2. 研修内容や学校 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

午前中は語学研修、午後は各自グループワーク。
学生同士の交流は、それぞれ観光名所に行ったり、食事をしたりと週末は自由行動です。

3. 生活 (住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど)

亜熱帯に属するため、折りたたみの雨傘は必須です。

4. 危機管理 (身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど)

貴重品は各自管理をするようにした方が良いと思います。
アメリカのニューヨーク等と比較するとはるかに安全です。

5. 留学を終えて感じる事 & 留学を考えている学生へのメッセージ

留学の目的は個人により異なるため、一概にはアドバイスを差し上げることができませんが、非常に良い環境 (キャンパスが美しい) で語学研修または学業に専念することができると思います。

6. 研修費用 (さしつかえなければおおよその金額を教えてください)

内訳	おおよその額	備考
航空運賃 & ビザ申請料	円	
海外旅行保険	円	
授業料 (教材費含)	円	
滞在費 (寮費など)	円	
食費	円	
交通費	円	
その他 (小遣い、通信費など)	円	
計		円

短期研修についてのアンケート

記入 | 2014年 9月

所属 & 学年 | 多元数理科学研究科 2年生

留学先大学 (国名)	国立中正大学 (台湾)
短期研修のプログラム名	グローバル社会と多元的文化社会
留学した期間	2014年8月1日~2014年8月26日

1. 留学前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

夏休み期間中英語を使えるプログラムに参加したいと思い、また私は中国語が話せるので台湾なら生活面で困らないと思い応募しました。値段が安かったのも理由の一つです。申込み手続は名大の留学生センターに参加の意思を伝え、その後インターネットで申し込みました。語学対策は特にしていません。

2. 研修内容や学校 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

午前中は講義、午後はグループワーク、週末は旅行ととても充実したプログラムでした。特にグループ内は日本人自分だけだったので、常に外国人と交流ができてとても良かったです。

3. 生活 (住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど)

学校側の都合で私は1人で住みましたが、通常は4人部屋の寮に住みます。食事は日本とよく似ているので心配ないかと思いますが、衛生的でない物はあまり口にしない方がいいと思います。日本の常備薬は持参した方がいいです。

4. 危機管理 (身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど)

特に身の危険を感じることはありませんでしたが、学校外へ出かける時は必ずパスポートを携帯していました。

5. 留学を終えて感じる事 & 留学を考えている学生へのメッセージ

この研修を通してたくさんの友達と出会えて良かったです。今でも何人かとよくチャットをします。1か月はあっという間なので、あまり悩まずにとりあえず参加してみるといいと思います。プログラム内容もとても充実しており楽しかったです。

6. 研修費用 (さしつかえなければおおよその金額を教えてください)

内訳	おおよその額	備考
航空運賃 & ビザ申請料	50000 円	ビザ不要
海外旅行保険	5000 円	
授業料 (教材費含)	5000 円	授業料は無料、申請料あり
滞在費 (寮費など)	20000 円	
食費	20000 円	
交通費	10000 円	空港—大学間の往復運賃
その他 (小遣い、通信費など)	20000 円	個人旅費
計	130000 円	

自由記述欄 * 現地のおすすめ情報や留学エピソードなどご自由にご利用ください。写真添付なども歓迎します。

↓↓↓

このプログラムの参加者の大半は中国人や台湾人で、私は中国語ができるということですぐに輪の中に溶け込みました。また台湾は景色がきれいな場所がとても多いので、週末を利用して旅行に出かけると楽しいと思います。あと台湾のアップルマンゴーとパイナップルケーキがとてもおいしかったです。

香港中文大学

短期研修についてのアンケート

記入 | 2014年 9月

所属 & 学年 | 工学研究科 修士2年生

留学先大学 (国名)	香港中文大学 (香港)
短期研修のプログラム名	Chinese Language Program
留学した期間	2014年 8月 8日 ~ 2014年 8月 29日

1. 留学前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

香港中文大学に行ってみたく、英語を用いて中国語を学習するプログラムだったので、英語の練習にもなると思ったからです。中国語は全くの初心者でしたが、初心者向けのクラスを選べば問題なかったです。初日に授業を受けてから、クラスの変更をすることも可能でした。

2. 研修内容や学校 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

平日は毎日、午前と午後2~3時間の授業で、文法とオーラルが隔日にあった。先生は中国人でしたが、英語も早くなくキレイで聞きやすかったです。ただ、3週間での授業になるので盛りだくさんの内容で最後の方はきちんと勉強しないと、ペースについていくのが大変です。授業中は、近くに座っている子とペアを組んでの練習が多かったので、交流しようと意志をしっかり持てば、他の国からきた留学生とも交流できると思います。授業以外の時間帯も同じプログラムの参加者の子と、観光したりショッピングしたり、ご飯を食べに行っていました。交流するかどうかはすべて自分の意思で何とでもなると思います。

3. 生活 (住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど)

寮はきれいで、2人か3人の相部屋でした。私のルームメイトはスウェーデン人でしたが、日本人同士の部屋もありました。食事は学校の食堂で食べたり、街に出て行ったりしていました。日本に比べると野菜の量が少ないかなと感じました。クレジットカードが使えるお店の割合は日本と同じぐらいです。両替所は街に行けばすぐに探せて、欲しいものはすぐに買える環境にありました。オクトパスカードというプリペイドのICカードは電車やスーパー、学校ほとんどのところで使えるのでごく便利でした。香港は、夏はとても暑い気候ですが、屋内の冷房は強く効いています。室内ではおれる上着は持っていくと良いと思います。教室は本当に寒かったです。

4. 危機管理 (身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど)

特に、危険を感じることはなかったです。一人で行動することがあまりなかったからかもしれませんが。

5. 留学を終えて感じること & 留学を考えている学生へのメッセージ

楽しかったですが留学は半年以上のプログラムがお勧めです。このプログラムは参加者の半数が日本人です。日本人以外と交流したい場合は、自分の意志をもって積極的に自分から話しかけるか他のプログラムを考えてもいいかもしれません。といっても、半数は日本人以外なので自分次第かもしれません。個人的にはヨーロッパ等、他の国の子とずっと一緒に行動していたので、とても充実した楽しい日々を過ごせたと感じています。

6. 研修費用（さしつかえなければおおよその金額を教えてください）

内訳	おおよその額	備考
航空運賃&ビザ申請料	60,000 円	ビザ代が 8000 円ほど
海外旅行保険	18,000 円	
授業料（教材費含）	20,800 円	協定校なので授業料は無料。教材費やフェアウェルパーティー等の費用は支払う必要あり。
滞在費（寮費など）	39,000 円	
食費	円	学食だと 1 食 300~400 円ぐらい
交通費	円	オクトパスカードを購入すると便利
その他（小遣い、通信費など）	円	
計		15~20万円

短期研修についてのアンケート

記入 | 2014年 9月

所属&学年 | 教育学部 4年生

留学先大学 (国名)	香港中文大学 (香港)
短期研修のプログラム名	CUHK International Summer School – Chinese Language Program
留学した期間	2014年 8月 6日 ~ 2014年 8月 30日

1. 留学前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

1・2年生のころ第2言語で中国語を履修しましたが、その後は勉強する機会がなかったので、せめて話せるようになりたいと思ったのがきっかけです。海外留学室の先生に相談した後、大学のホームページから申し込みました。

2. 研修内容や学校 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

平日の9:30~12:15と14:30~16:15に授業があり、文法と口語の授業が1日おきに行われました。少人数のクラスで、申し込みの際に行ったテストの結果によって、レベル分けされました。ペアワークやグループワークが多く、クラス内の交流が盛んでした。先生もとても熱心に学習をサポートしてくれました。

3. 生活 (住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど)

8月の香港は湿度がとても高く、蒸し暑いです。反対に、室内の冷房がとてもきついので、大学やお店の中では長袖の上着が欠かせませんでした。急な温度変化によって体調を崩しやすいので、念のため風邪薬を持参すると良いです。寮は新しく、食堂もありました。水道水は飲めないなので、いつもミネラルウォーターを買っていました。

4. 危機管理 (身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど)

日常生活において、危険を感じることはありませんでした。ただし、友人は混雑した駅の構内でスリにあっってしまったので、外出中は貴重品の管理に気をつけなくてはなりません。

5. 留学を終えて感じる事&留学を考えている学生へのメッセージ

香港は都会のイメージがありましたが、大学は都市部から離れた山の上にキャンパスがあるため、香港の中でも自然の多い地域で生活していました。アジアなので人や街並みは日本と似ていますが、やはり文化も言葉も全く違うため、毎日がとても新鮮でした。かつてイギリス領であった香港は、中国とイギリスの文化が混ざり合う魅力的な都市だと感じました。旅行よりも長く滞在することで、その国についてより深く知ることができると思います。留学を考えている方は、まずは現地に行ってみて、そこでの生活を体験してみることをおすすめします。

6. 研修費用（さしつかえなければおおよその金額を教えてください）

内訳	おおよその額	備考
航空運賃&ビザ申請料	45,000 円	
海外旅行保険	13,000 円	
授業料（教材費含）	23,000 円	
滞在費（寮費など）	43,000 円	
食費	40,000 円	
交通費	10,000 円	
その他（小遣い、通信費など）	40,000 円	
計		214,000 円

自由記述欄 *現地のおすすめ情報や留学エピソードなどご自由にご利用ください。写真添付なども歓迎します。

↓↓↓

授業の最終日、クラスのみならず先生で撮影しました。

授業でカラオケ大会や劇をしたり、みんなで飲茶を食べに行ったり、仲の良さが自慢のクラスでした！



梨花女子大学

短期研修についてのアンケート

記入 | 2014年 10月

所属&学年 | 経済学部 2年生

留学先大学 (国名)	梨花女子大学 (韓国)
短期研修のプログラム名	梨花女子大学サマーセッション
留学した期間	2014年 8月 5日 ~ 2014年 8月 21日

1. 留学前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

ハングル文字の読み方を少し勉強しました。向こうで携帯できるよう韓国語の単語帳を購入しました。

2. 研修内容や学校 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

午前中は韓国語の授業を受けて、午後は全員でフィールドワークに出かけていました。そのフィールドワークの終わった後に、友達と毎日出かけたりできて本当に楽しかったし色々な国の人と仲良くなれました。

3. 生活 (住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど)

相部屋だったので友達の幅が広がりました。韓国料理が好きなので毎日美味しく色々な物を食べていました。持って行ってよかったのは、マグカップです。

4. 危機管理 (身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど)

特にありません。

5. 留学を終えて感じる事&留学を考えている学生へのメッセージ

本当に毎日充実して多くの友達ができ楽しかったです。私は留学前は韓国語でコミュニケーションをとろうと思っていたけれど、英語しか話せない人もたくさんいたので、英語をたくさん勉強してから行けばよかったとすごく思いました。

6. 研修費用 (さしつかえなければおおよその金額を教えてください)

内訳	おおよその額	備考
航空運賃&ビザ申請料	25000円	
海外旅行保険	0円	クレジットカードの保険
授業料 (教材費含)	1000円	
滞在費 (寮費など)	40000円	
食費	40000円	
交通費	3500円	
その他 (小遣い、通信費など)	30000円	
計		139,500円

自由記述欄

大学の周りにはたくさんお店があって、すぐにでかけられて楽しかったです。また英語で会話することが多かったので最初は緊張したけれどとても楽しかったです。普段できない経験がたくさんできて韓国素敵な国だなんて思いました。

短期研修についてのアンケート

記入 | 2014年 9月

所属 & 学年 | 経済学研究科 M1 年生

留学先大学 (国名)	韓国梨花女子大学
短期研修のプログラム名	韓国梨花女子大学 summer school session2
留学した期間	2014年8月6日 ~2014年8月26日

1. 留学前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

そもそも韓国に興味をもちまして、たまたま韓国語を勉強できるプログラムを発見したから、参加すると決めた。外国語に関しては特に準備する必要はなく、向こうではクラス分けされるので、韓国語まったくわからなくても大丈夫。

2. 研修内容や学校 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

基本午前中は韓国語の授業で、午後は韓国文化や社会に関する講座、そしてフィールドトリップの形でたくさんの名跡や観光地につれてもらう。参加する学生はみんな韓国に多少興味を持っている人で、国籍は関係なく共通する話題が多い。

3. 生活 (住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど)

大学の寮は綺麗で、2人部屋で、わりと居心地よかった。お金に関しては、基本クレジットカードは使えるが、多少現金も持って行った方がいい、特に寮の宿泊費は現金でしか支払えないから、その分の現金は持って行ったほうがいい。

4. 危機管理 (身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど)

韓国は日本ほど安全ではないけど、ソウル市内なら大丈夫でしょう。特に大学の周りは大丈夫だと思う。

5. 留学を終えて感じる事 & 留学を考えている学生へのメッセージ

夏休みを充実させたい、日本以外の国にも行ってみたい方にはぜひ参加することをお勧めします。いろいろ見学できるし、韓国語も習得できるし、それに、日本人だけでなく、たくさんの国の人たちとは友達になれる絶好のチャンス。

6. 研修費用 (さしつかえなければおおよその金額を教えてください)

内訳	おおよその額	備考
航空運賃 & ビザ申請料	5万円	
海外旅行保険	3000円	
授業料 (教材費含)	0円	
滞在費 (寮費など)	5万円	
食費	円	物価はだいたい日本の半分くらい
交通費	円	
その他 (小遣い、通信費など)	円	
計		円

自由記述欄 * 現地のおすすめ情報や留学エピソードなどご自由にご利用ください。写真添付なども歓迎します。

短期研修についてのアンケート

記入 | 2014年 10月

所属&学年 | 文学研究科 1年生

留学先大学 (国名)	梨花女子大学校 (韓国)
短期研修のプログラム名	韓国語研修
留学した期間	2014年8月6日 ~2104年8月21日

1. 留学前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

語学対策なし (論文作成と仕事で多忙のため)

2. 研修内容や学校 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

午後の授業は校外学習や英語での講義だった。出席が必ず必要と知らなかった。

このため史料調査をする予定だったが、できなかった。

すでに行った事のある場所に、いかなくってはならなかった。時間の無駄をしてしまった。

午後は、語学の自習にあてたかったが、自由がきかなかった。

3. 生活 (住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど)

学生寮は清潔で、快適だった。金銭管理もオートロックで安心だった。

部屋はホテルと異なり、何も備品がないので、ハンガー、タオルをはじめ、すべて持参が必要だった。

4. 危機管理 (身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど)

安全だった。

5. 留学を終えて感じる事&留学を考えている学生へのメッセージ

このプログラムは、韓国へ初めて行く人に適していると思います。

6. 研修費用 (さしつかえなければおおよその金額を教えてください)

内訳	おおよその額	備考
航空運賃&ビザ申請料	38,000円	
海外旅行保険	0円	カード会社の保険を使用のため無料
授業料 (教材費含)	0円	
滞在費 (寮費など)	60,000円	
食費	35,000円	
交通費	10,000円	
その他 (小遣い、通信費など)	10,000円	
計	153,000円	

自由記述欄 * 現地のおすすめ情報や留学エピソードなどご自由にご利用ください。写真添付なども歓迎します。

↓↓↓

特になし

モナシュ大学

短期研修についてのアンケート

記入 | 9年 30月

所属 & 学年 | 医学部 2年生

留学先大学 (国名)	Monash university
短期研修のプログラム名	夏期語学研修モナシュ大学コース
留学した期間	2014年8月30日 ~2014年9月28日

1. 留学前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

英語力を向上させたかったため。語学対策としては、渡航1か月前からskypeを使用した英会話の映像修行を受けていました。

2. 研修内容や学校 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

主な授業は1:00-5:15で2時間ごとに15分の休憩有でした。授業は主に英語についてで、クラスは日本人の他に中国人、ベトナム人、サウジアラビア人、ペルー人がいました。後半にはクラスメイトとケーキを食べに行ったりして、さまざまな交流をすることができました。

3. 生活 (住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど)

薬はがあると安心感がすごかったです。

4. 危機管理 (身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど)

常に貴重品がどこにあるかを確認しておくこと。危険に感じたことは正直ほぼありませんでした。

5. 留学を終えて感じること & 留学を考えている学生へのメッセージ

やはり1か月では足りないなということ。迷っているならぜひ行くべきです!

6. 研修費用 (さしつかえなければおおよその金額を教えてください)

内訳	おおよその額	備考
航空運賃 & ビザ申請料	円	
海外旅行保険	円	
授業料 (教材費含)	円	
滞在費 (寮費など)	円	
食費	円	
交通費	25000円	Myki (manacaのようなもの) は高い!
その他 (小遣い、通信費など)	10000円	Pocket wifi は現地でするのがおすすめ!
計		円

自由記述欄 * 現地のおすすめ情報や留学エピソードなどご自由にご利用ください。写真添付なども歓迎します。
メルボルンは本当に最高の都市です!

短期研修についてのアンケート

記入 | 2014年 10月
所属 & 学年 | 医学部 2年生

留学先大学 (国名)	モナシュ大学 (オーストラリア)
短期研修のプログラム名	モナシュ大学短期海外研修 (夏) 総長奨励制度
留学した期間	2014年 8月 30日 ~ 2014年 9月 28日

1. 留学前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

きっかけは学務係からの電話。家族や親しい人に相談し、留学することを決めた。
オーストラリアに行く前に語学対策は特にしなかったが、暇なときは洋画を英語で観るようにした。

2. 研修内容や学校 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

授業は午前に4時間ほど。内容はIELTSテストの対策になるものが多く、基本4技能を高めるものが多かった。
プレゼンなどもした。ディスカッションで同じ機のクラスメイトと話すのがとても楽しかった。
学生交流は、モナシュ大学の日本語クラブなど。

3. 生活 (住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど)

ステイ先の環境は最高だった。夜はイタリア系の料理、朝昼はサンドイッチを自分で作って食べた(家の食材は自由に使わせてもらった)。だんだん金銭感覚がなくなってくるので注意(特にクレジットカードを使う人)。空気が乾燥しているのでマスクがあるとよいかも。

4. 危機管理 (身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど)

すりや置き引きに合うことはなかったが、街中では貴重品の管理はしっかりと。裏路地は結構怖い。

5. 留学を終えて感じる事 & 留学を考えている学生へのメッセージ

最初は英語を話すことに抵抗(恥ずかしさ)があったが、1週間したら積極的に話せるようになった。家族やクラスメイトと積極的に話すようにし、結局英語のテストスコア的にも英語力を向上させることができた。
夏休みに行くことに抵抗を感じる人もいるかもしれないが、結果的に無為に時間を過ごすよりもいい時間を過ごすことができると思う。クラスメイトが外国人留学生ばかりで、海外に友達もできるので、とてもおすすめのプログラムです。

6. 研修費用 (さしつかえなければおおよその金額を教えてください)

内訳	おおよその額	備考
航空運賃 & ビザ申請料	円	
海外旅行保険	2万円	
授業料 (教材費含)	円	
滞在費 (寮費など)	10万円	ホームステイ代
食費	3万円	
交通費	2万円	
その他 (小遣い、通信費など)	2万円	
計		19万円

短期研修についてのアンケート

記入 | 2014年 10月
所属 & 学年 | 工学部 3年生

留学先大学 (国名)	モナシユ大学
短期研修のプログラム名	モナシユ大学夏期英語研修
留学した期間	2014年 8月 31日 ~ 2014年 9月 27日

1. 留学前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

応募のきっかけは、夏休みを海外で過ごして充実させたいという軽いものでした。語学対策はほとんどできませんでした。

2. 研修内容や学校 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

最初の一週間は名古屋大学と三重大学の学生のみでの午前授業でした。後の三週間は college にいる色々な国の生徒と一緒に授業を受けました。授業は 2 時間×2 で、writing,listening,speaking,reading を全て英語で勉強しました。三週間の授業は今後の英語勉強の指針になるような素晴らしいものでした。しかし、最初の一週間は全て日本人の学生で、皆モチベーションが低くあまり有意義な授業ではありませんでした。また、クラスの生徒全員で、クラスの子の誕生日をサプライズで祝い、クラスの色々な国の人と仲良くなったり、クラスの生徒で食事に行ったりしてたくさん交流できました。

3. 生活 (住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど)

オーストラリアは春でまだ肌寒かったです。コートをしっかり持って行って良かったです。ホストファミリーから鍵をもらったのでキーケースを持って行って良かったです。また洗濯の回数を減らすために衣類のファブリーズが活躍しました。

4. 危機管理 (身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど)

危険を感じた事は一回もありませんでした。しかし、夜遅くになると酔っ払いや危険そうな人を目にしたので、女性は夜遅いのは気をつける必要があると思いました。

5. 留学を終えて感じる事 & 留学を考えている学生へのメッセージ

一ヶ月の語学留学? くだらない!
とずっと思っていたのですが、軽いきっかけでこのプログラムに参加しました。終わってみると、最高の一ヶ月でした。今までの人生で一番充実した一ヶ月でした。本当の意味で毎日学ぶ事がありました。もちろん英語はどこにいても毎日学びますし、日本には感じにくい事を毎日学びました。クラスメイトでは、中国人の元気さ、優しさ、学ぶ事への意欲。サウジアラビアの女性は子供を持ちながらも通うなど、それぞれの生徒が色々な背景を持っている事。オーストラリアの風土、人柄。そして、留学、英語勉強への意識の高い日本人の仲間との交流。すべてが今後につながるものです。英語力は高まりましたが、長期留学に比べると本当に微々たるものでしょう。しかし、この一ヶ月が僕を成長させ、今後の僕を変える大切なものになったと思います。
一ヶ月の語学留学? 知った気にならないで早いうちに、低学年のうちに、ぜひ参加してほしいです。

6. 研修費用 (さしつかえなければおおよその金額を教えてください)

内訳	おおよその額	備考
計	70万	円

